

江野本さんからバトンを受け取った草刈です。札幌市の学校に勤務する事務職員です。会員みなさん、よろしくお願いします。

3月まで勤務していた前任校の札幌市立中島中学校の校舎改築と仮校舎からの移転のため、自分で言うのも恐縮ですが、非常に多忙な日々を過ごしていました。

1年目の基本設計（配置、校舎平面決定）、2年目の実施設計（設計の詳細決定）、3年目の解体・着工・竣工・移転と、当初から関わり、特に前年度の1年間は日々、改築関係の連絡・調整に明け暮れた毎日でした。

3月末の新校舎引き渡し、仮校舎からの移転、大量の備品納入が無事終了し、事務室の荷物の梱包を解いて間もなく、現任校への異動となりました。

周辺の方からよく「新しい校舎になったのに残念ですね」と言われましたが、本人は役割を果たして燃え尽き、また、幸いにも後任者が十分にフォローしていただける方でしたので、心置きなく異動ができました。

現任校も、平成22年度に改築され、竣工から5年目となるまだ新しい学校です。

改築工事の調整を担当することで、「多くの方々の役割と協働があって、ひとつの建物ができあがる」とあらためて感心しました。

昨年6月の着工以来、毎週、工事打合せがあり、札幌市の建築局各担当者、建築設計士をはじめ、電気設計士、設備設計士、建築、強電、弱電、配管、暖房などの各現場監督、学校側も含めると30人ぐらいのメンバーが集まります。会議でも現場でも連携・協力し、調整をしながら、一つの建物を作り上げていきます。

さらに現場では、工事の進捗状況に応じて、それぞれ専門の得意分野で技能を持った職人が入れ替わり出入りして作業を進めます。

工事関係のみなさんと一緒に仕事をすると、共通して伝わってくることは「いいものをつくりたい」という思いです。その思いが、連携・協力を支えていると感じました。

同様に、私達学校に勤務する職員も、様々な役割と協働があって、子どもたちのための教育活動の目標が達成できるのではと思います。

学校では、異動の着任の際に、子どもたちの前であいさつをする機会があります。私の場合「みなさんが学校で、楽しく、安全に、気持ちよく、勉強や生活をする事ができるよう頑張ります。」と毎度セリフが決まっています。

今回の異動の際もこのセリフであらためて自分自身の役割を肝に銘じたのであります。

今回は、中島中学校の後任でフォローしていただいた平野正志会員へリレーします。